

緊急脱出用タイヤネット 取扱説明書

この度は、緊急脱出用タイヤネット SNB-32をお買い求めいただきましてありがとうございます。

この「取扱説明書」は、SNB-32を安全にご使用いただく為のガイドブックです。弊社製緊急脱出用タイヤネットを初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用された経験をお持ちの方にも、知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。この「取扱説明書」を最後までよくお読みになり、内容をご理解した上で正しくご使用くださいますようお願い致します。又、常にこの「取扱説明書」をお手元に置いて使用することをおすすめ致します。

※記載されているイラストはイメージです。

① 安全に関するご注意 ※本製品を安全に正しくお使いいただく為に必ずお守りください。

- 使用前に取扱説明書(本書)をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った取付・使用方法及び運転方法による事故や破損につきましては一切の責任を負いかねます。
- お読みになった後は、本製品のそばなどいつも手元に置きご活用ください。
- お買い上げいただいた本製品の本体表示及び取扱説明書には、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただく為に、守っていただきたい事項を表示しています。

△ 使用上の注意

- 本製品を装着する前に、タイヤハウスやサスペンションなどと、タイヤやホイールとの間隔が3cm以上あることを確認してください。また、前輪に取り付けの場合はハンドルを左右いっぱい回した状態でも確認してください。
- 装着の際は平坦な場所でお車の前後に余裕のある状態で行ってください。
- 本製品には鋭利な部分がある為、装着時には付属の手袋を使用してケガをしないようご注意ください。
- カムバックルやスパイクピンなどで車向にキズを付けないよう注意してください。
- 作業中に同乗者は乗り降りしないでください。
- ラジアルタイヤ、スタッドレスタイヤに関係なく本製品を装着して走行することでタイヤの角や側面が摩耗することがあります。
- 取付時に固定用ベルトをエアバルブの上、または近くに取り付けなくてください。
- スティール製ホイールには使用できません。アルミニウム合金製のホイールに使用してください。
※ホイール形状によって、固定用ベルトが通せず、本製品を装着できない場合があります。
- ホイールのサイズやデザインによっては、走行することでホイールにキズが付く場合があります。
- アルミホイールでもホイールキャップ装着車(プリウス等)の場合は、ホイールキャップを外してご使用ください。
- 本製品には装着不可車があります。必ず本製品の取扱説明書をご確認の上ご使用ください。なお、スパイクタイヤやLT(ライトトラック)タイヤなど特殊なタイヤには使用できません。
- 適合タイヤサイズが同じでもタイヤメーカーによって装着困難な場合があります。
- 本製品を装着した際、ブレーキキャリアと固定用ベルトが干渉する場合は使用できません。

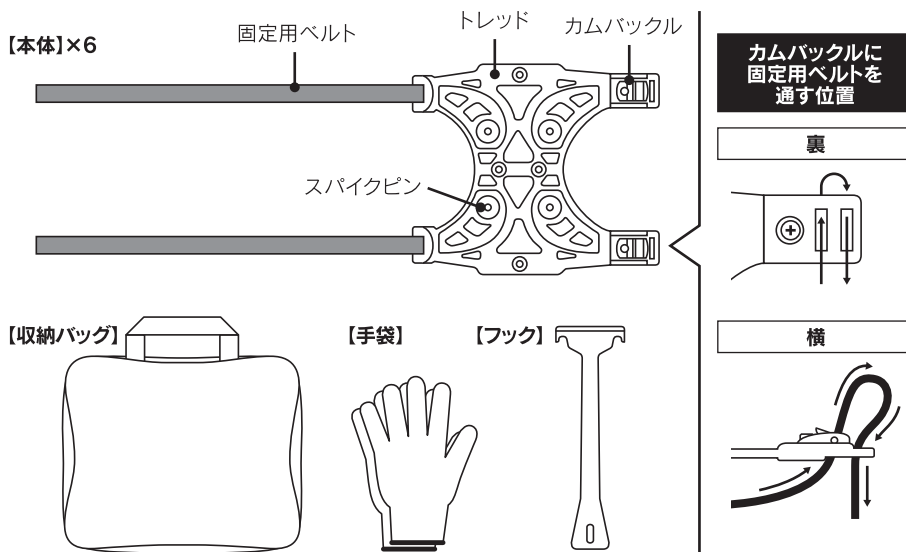
△ 走行上の注意

- 雪道では本製品を装着していても、スリップなどは起こります。細心の注意を払って安全運転を心がけてください。
 - 装着時は安全の為、20km/h以下で走行してください。20km/hを超える速度で走行すると、遠心力で本製品が膨らみ、内部接触や破断、車両の損傷の原因となります。
 - 急発進・急加速・急ハンドル・急ブレーキは避けてください。横滑りや本製品がタイヤからずれたりして思わぬ事故につながります。
 - 積雪道や凍結道では制動効果が著しく低下します。車間距離を十分に保って走行してください。
 - 無雪道での走行は本製品や使用のお車を損傷させる原因となりますので、必要のない時は取り外してください。
 - 空転したらすぐにアクセルを戻してください。トレッドが膨らみ内部接触し、スパイクピン・トレッドが異常に摩耗したり、本製品の破断の原因となります。
 - 走行中に異常を感じたらスピードを落とし、安全な場所に停車させてから原因を確認してください。本製品に損傷や破損がある場合は使用を中止してください。
 - FF・FR車及び4WD車の性能の違いに注意してください。
 - ・FF車(前輪駆動車):本製品を装着していない後輪が横滑りを起こしやすくなります。
 - ・FR車(後輪駆動車):アクセルを踏み過ぎると横滑りを起こしやすくなります。また、本製品を装着していない前輪が滑りやすく、速度を出し過ぎるとカーブで曲がれなくなります。下り坂やカーブでは十分に減速して走行してください。
 - ・4WD車(四輪駆動車):雪道の走行に強いと言われていますが、過信すると大きな事故につながります。路面に応じた速度で十分に注意をして走行してください。
 - 下記の状態になった場合は使用しないでください。
 - ・トレッドに1カ所でも切断や亀裂が生じている場合。
 - ・トレッドやスパイクピンが半分以上摩耗している場合や、スパイクピンが2個以上欠落している場合。
 - ・固定用ベルトに亀裂が生じている場合や、カムバックルが破損している場合。
- ※本製品は経年劣化します。使用前は十分に点検してください。

② 使用用途

本製品は雪道等の緊急脱出を目的に使用するものです。
用途以外でのご使用はしないでください。
※本製品はチェーン規制には対応していません。

③ 各部の名称



④ ご使用前に

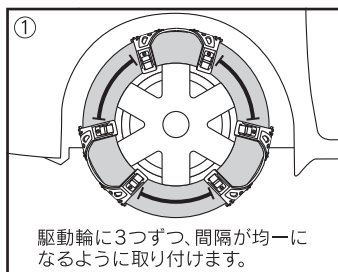
本製品の取扱説明書をよくお読みになり、ご使用前に着脱練習も兼ねて必ずテスト装着を行ってください。

⑤ 取付方法

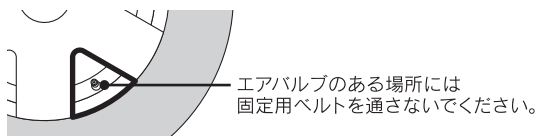
ご使用前に本製品のテスト装着を行ってください。

※テスト装着の際は平坦な場所でお車の前後に余裕のある状態で行ってください。

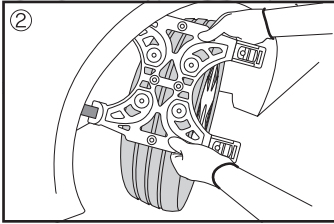
※イラストの車両はFF車(前輪駆動車)です。



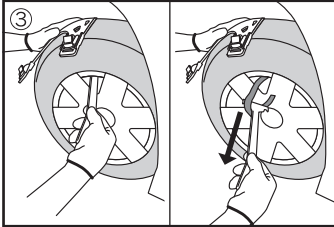
① 固定用ベルトを通す位置を決める。



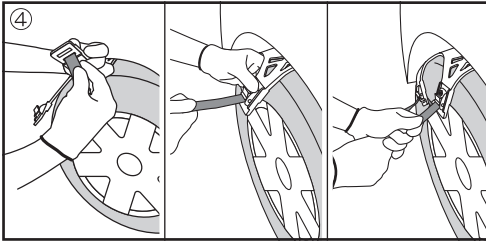
**ワンポイント
アドバイス** FF車はハンドルを切ってタイヤの向きを変えるとスムーズに取り付けできます。



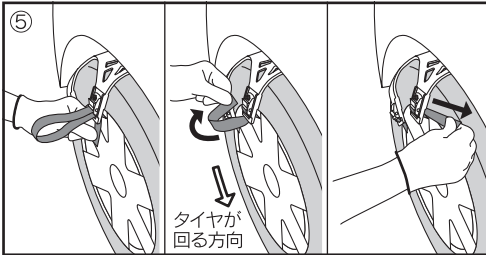
- ②カムバックル側がタイヤの外側、固定用ベルトがタイヤの内側になるように本体をタイヤにかぶせる。
 ※本製品がフェンダーやタイヤハウス等に接触すると、破損の原因となりますので注意して取り付けてください。



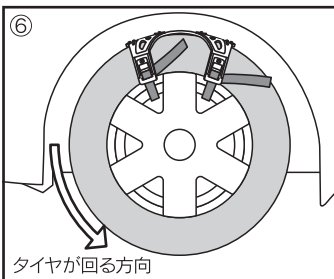
- ③付属のフックで固定用ベルトをタイヤの内側から手前に引き出す。
 ※ブレーキキャリパー付近は間隔が狭くなっているのでフックやベルトを通す際注意してください。
 ※フックで車のブレーキホース等を誤って引っ張らないようご注意ください。



- ④固定用ベルトをカムバックルの裏側から通し、しっかり引っ張って固定する。
 ※この時、トレッドがタイヤの中心にきているか確認してください。
 ※誤ってブレーキホース等を巻き込んで固定用ベルトを固定しないでください。

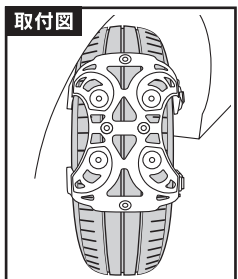


- ⑤余った固定用ベルトをカムバックルの先端の穴に通し、タイヤ・ホイールに干渉しないように本製品とタイヤの間に差し込み引っ張る。
 ※タイヤが回る方向に注意して、逆回りに差し込んでください。



- ⑥②～⑤を繰り返して、1輪に3つ本製品を取り付ける。
 取り外す際は、⑤→②の順で取り外す。

取付動画は
 こちら



⑥ 保管方法

- トレッドやスパイクピンなどについた汚れを落として乾かしてから、直射日光の当たる所や40℃以上になる所、湿度の高い所を避けて保管してください。
- スパイクピンや金属部にサビが発生している場合は、乾いた布やブラシなどでサビをよく落としてください。
その際、サビ取り剤やクリーナーなどケミカル用品は使用しないでください。
- トランクルームでの保管は避けてください。

⑦ 製品仕様

材質	本体:TPU、カムバックル:亜鉛合金、 スパイクピン:スチール、固定用ベルト:PET
付属品	フック、手袋、収納バッグ
本体サイズ	約345(W)×30(H)×298(D)mm(固定用ベルト含まず)
固定用ベルト長さ	約540mm
重さ	約3.3kg

メルテック
大自工業株式会社

営業本部 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126 TEL.072-976-0101(代)
東京支社 〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-37-12-107 TEL.03-3590-6105
<https://www.daiji.co.jp/> Eメール:info@daiji.co.jp

※本製品の仕様及び装備・カラーは改良の為、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
※本製品は日本で企画・開発し、中国で製造しています。